

★外部版★県庁6課16名打合せメモ 230410実施 0422 ver4

- 1. 経済産業部 森林保全課・エネルギー政策課
（軽井沢メガソーラー林発許可取消関係）**
- 2. 交通基盤部 道路局道路企画課（伊豆湘南道路他）**
- 3. くらし・環境部 環境局 生活環境課
（軽井沢メガソーラー・環境アセス関係）**
- 4. くらし・環境部 環境局 水資源課
（エメラルド区水問題）**
- 5. 健康福祉部 地域包括ケア推進室（病院問題）**

1. 経済産業部 森林保全課・エネルギー政策課 (軽井沢メガソーラー林発許可取消関係)

参加者：森林保全課 課長 さん,課長代理 さん,森林保全班班長 さん
ん,エネルギー政策課課長 さん(名刺無し),班長 さん

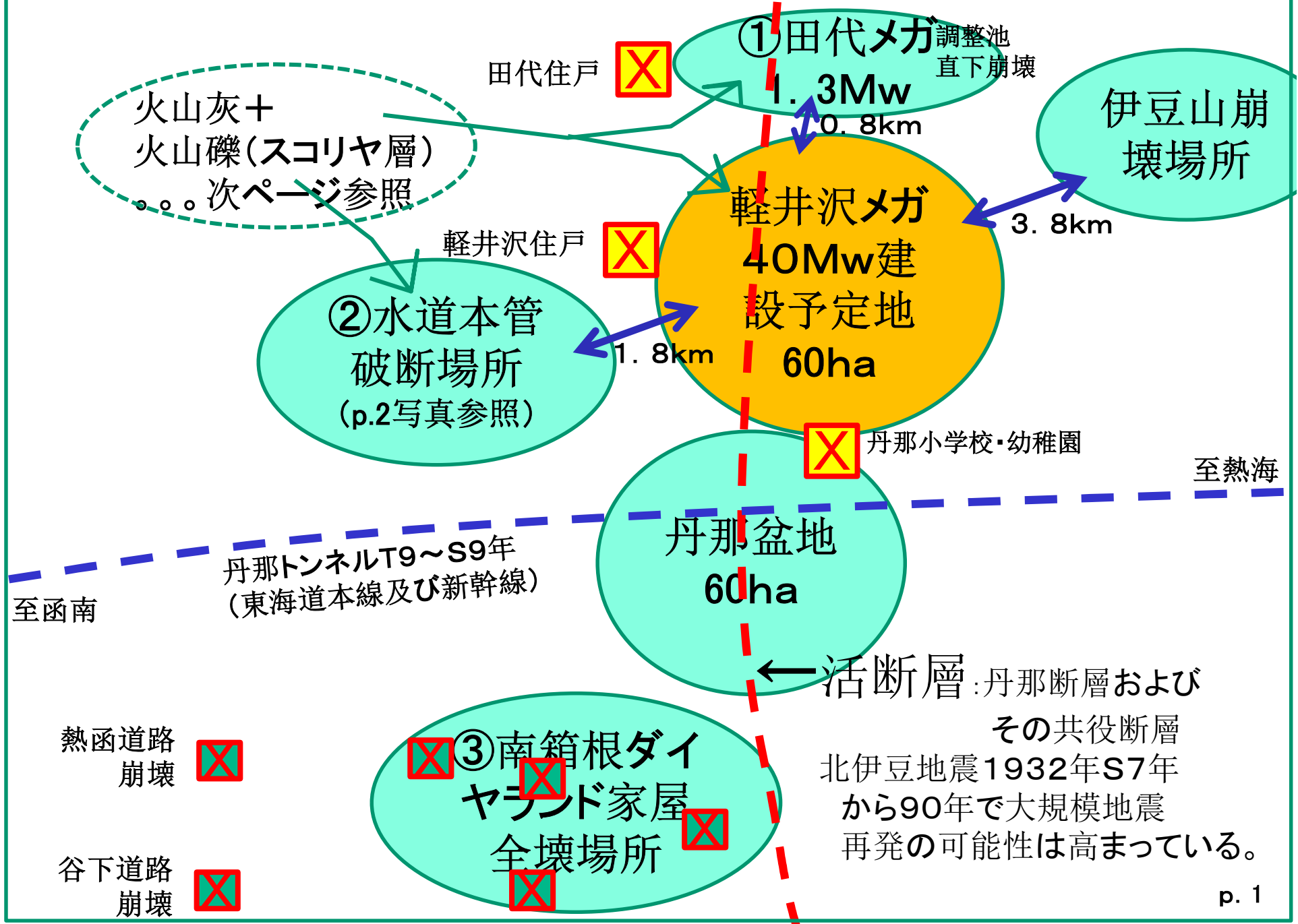
打合日時場所：230410、13:00~@東館13F 外部大型モニタ借用

打合内容：

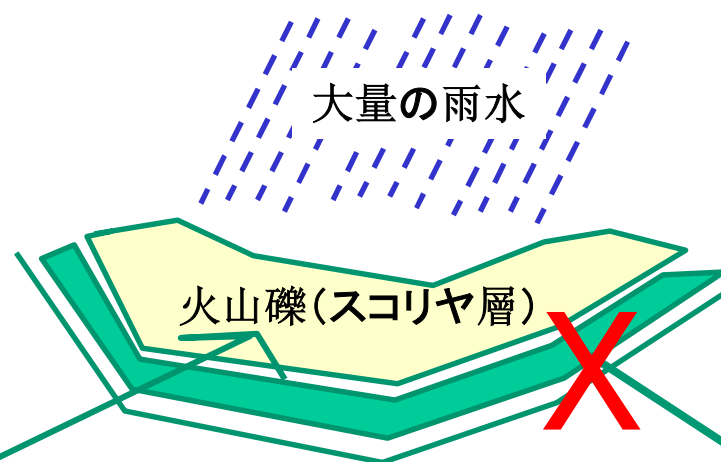
- 1.昨年6月から県議会で議論、現地調査、12月議会で林発許可取消の請願もあり3人の県議が質問、本年2月議会で中田県議質問、審査継続中の説明あり。(中田県議とは4/10朝9時に事前架電し、森林保全課に再度情報提供するようにアドバイスあり。)
- 2.町、町議会も林発取消要望書を直接県に提出したことの確認。
また東電に対しても系統連系工事着手届けが出た場合でも慎重に対応するように町が要請したこと(3/10付け新聞記事)の確認
- 3.2019年台風19号被害のフォト情報をp c持参し外部モニタに表示し説明。
<https://photos.app.goo.gl/ooSrSJ4iicVxjcMf7> 自民改革派は現地で見ない田代のメガ被害状況も説明。2022年1月に県生活環境課で町議会特別委員が説明した資料を手渡し説明。→次ページ参照。
- 4.認定ID失効制度で軽井沢メガID取消になるかの議論。 さんは、取消にならないのではとの意見。「県が林発取消しの意志を示せば林野庁は全面的に協力するー」とのことを林野庁にも確認したが、協力するとは言っていないとの回答。以上 さんの意見。資源エネルギー庁の2023-2-9付け最新の認定失効制度について-資料の確認および手渡し。

ポイント： 軽井沢メガ至近の田代メガ土砂崩落状況はご存じなく、驚いた様子であった。 さんのID取消懷疑論要フォロー

□ 2022年1月13日に県生活環境課殿に示した図面および説明。作成:古村 高



数万年前に多賀山系の火山噴火で形成された
伊豆半島特有の地形



火山灰がお椀のようになり
その上のスコリヤ層に大量の
雨水がたまり、限度を超えると
崩壊する。今後地球温暖化で大量の雨水を含む
台風、豪雨が多くなり土砂崩壊の可能性も高まっている。
前ページp.1の①と②(右の写真)にスコリヤ層が観測される。

凹凸のある山間地で土砂崩壊 X 誘発



台風19号関連 photo情報:

<https://photos.app.goo.gl/ooSrSJ4iicVxjcMf7>

短縮: <https://bit.ly/3rHPPD7>



QRA

2019年10月の県水道本管崩壊場所での
スコリヤ層(黄色の地層)崩壊状況

2. 交通基盤部 道路局道路企画課（伊豆湘南道路他）

参加者：局長 さん（名刺交換のみ）、課長 さん、高速道路班班長
さん、主査 さん

打合日時場所：230410,14:00~@本館2F 局長前の会議机

打合内容：

- 1.丹那ベルト区域構想の説明。50年前からある13000区画にも上る田園中山間地住宅地域にとっていかに最新の道路計画である伊豆湘南道路の丹那出入り口が重要であるか説明実施。伊豆湘南道路はルート未定であり、丹那出入り口の話しは未定とこのことの説明再度あり。
- 2.熱函道路新山 I C 付近の最高速30 k m制限の要望を伝える。本件は警察での速度規制になるので、低速度区域の計画を立て、町とつめて、警察に提出すべきとのアドバイスあり。
- 3.2021年度のG S M試験運行の説明実施し、丹那盆地周回道路メインの自動運転車走行の要望を伝えたところ、自動運転車のリスクがあり、運行区域が限られていること、安全性の確認が重要とのアドバイスあり。
- 3.1 暮らしの応援隊の移動支援の活動説明。安全走行には低速走行重要。
- 4.伊豆中央道の無料化延期の話しが紛糾している件。県としては無料化による渋滞の拍車を懸念しているとの説明再度あり。町議会からの国、県への要望書の確認。

ポイント：伊豆湘南道路の丹那出入り口の必要性の議論のつめ。
県の伊豆中央道の無料化延期計画に対する更なる反対論のつめ。
今回議論できなかつた、東の道の駅構想の確認。

3. くらし・環境部 環境局 生活環境課 (軽井沢メガソーラー・環境アセス関係)

参加者：課長 さん、環境影響評価班班長 さん、
 主任 さん、

打合日時場所：230410、15:00~@西館6F 外部モニタ借用

打合内容：

- 1.森林保全課と同様に外部モニタ使用し台風19号被害状況、特に田代メガ至近土砂崩壊の確認。2022年1月に生活環境課に提出した資料（本資料p3-4）の再確認。
- 2.林発許可は力があるが、アセスは手続きだけである一との説明再度あり。
- 3.FIT認定取り消しとなっても、10円、20円/kwでも事業者がアセス準備書を県に出せば対応せざるを得ない。
- 4.清水LNG案件の例もあり、やはり住民の力が重要。
- 5.一般論として、ブルーキャピタルがやめるといえば止まる。

ポイント：林発許可取消要請と絡めた、継続したアセス
引き延ばし策重要。

4. くらし・環境部 環境局 水資源課 (エメラルド区水問題)

参加者：課長 さん、課長代理 さん、水道環境班
班長 さん

打合日時場所：230410、15:45~@西館6F

打合内容：

- 1.エメラルド区長から川勝平太県知事宛の、エメラルド区水道問題に関するお願いの文書が4/9にレターパックで出されていることの確認。(本打ち合わせ時点では水資源課では未確認であった。)
 - 2.伊豆の国市と函南町にまたがる伊豆エメラルドタウンで、市側みどり区・町側エメラルド区および新たな水道源となる小松ヶ原区水源、東部簡易水道の位置関係等の再確認。過去50年にわたり、住民が渴望する町の簡易水道化に関する問題であることの再確認実施。
- ポイント**：継続して、エメラルドタウン管理組合、エメラルド区住民、町、県で本問題をフォローする。

5. 健康福祉部 地域包括ケア推進室（病院問題）

参加者：主査 さん 打合日時場所：230410,16:30~@県医師会館4F

打合内容：（赤字部は矢岸さんによる修正 0414）

- 1.伊豆保健医療センターによる積極的な訪問診療の確認。
- 2.県では訪問診療は積極的に対応してきている。別紙文書（在宅医療提供施設整備事業）入手。

<http://www2.pref.shizuoka.jp/all/sinsei.nsf/04.html/5B7CC3EA3942E4594925885300029026> から入手可能。

出張診療はやってないが、訪問診療のための

医療機器の補助である。ただ19病床以下の小規模診療所向けである。

- 3.県は出張診療に関して情報が無かった。県では、山口医院さんがどのようにして出張診療をはじめたのか承知していない。県の方で出張診療についてこういった条件が必要なのか確認をし情報提供する。
- 4.地域の要望、伊豆保健医療センターさんの考えが重要。またベリー薬局さんのような医師を助ける人、支える人が重要。看護師がまず看取りに行き（忙しい）医師が翌日に行く形で医師を援助できる。
- 5.農村環境改善センターでどうやるか？やり方を工夫する必要がある。まずは町内で検討いただき、町ではどうにもできない、県の支援が必要とすることであれば、要望書を出すなどの対応となる。やり方によって、愛知県にある東海北陸厚生局に届出を出す必要がある。

<https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/tokaihokuriku/index.html>

- 6.県医師会と県行政は同じ県医師会のビルにいる。町から県、田方医師会から県医師会への要請があれば、すぐに話は出来る。さんは医師会のビルの中にいる。

ポイント：伊豆保健医療センター、町の健康づくり課、県の地域包括ケア推進室そして住民と話し合いを継続する。